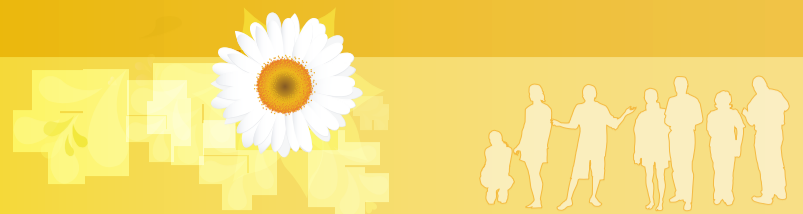


平成29年第1回定例区議会

代表質問 (要旨)



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

ちよだの声

小枝 すみ子

石川区政5期目の区政運営

- 問** これまでの区政運営は、お茶の水の移転や街路樹の伐採等、不透明な手法が目立った。区民を失望させないよう、5期目にあたっての決意を伺う。
- 答** 区民の信頼確保に向け、情報公開を進め、区政の見える化を推進する。特に施設整備にあたっては、住民等への情報提供を徹底するよう指示した。

石川区長は豊洲問題に何を学ぶ

- 問** 都政における築地移転の混乱から、自治体の長として何を学ぶのか。
- 答** 意思決定過程の手続きの重要性や、区民の命・安全に関わる問題について、トップが下す判断の重さを再認識した。

麴町(平河町)仮住宅について

- 問** 区営住宅や図書館等を含む四番町の複合施設について、長寿命化の修繕後間もなく建て替えが計画されている。さらに、建て替え中の仮住宅として、平河町に仮住宅を新たに建設するというが①6年間の仮住宅に約20億円をかけることをどう考えているのか②2つの公共施設整備の最高責任者は誰か。
- 答** ①区営住宅は配慮を要する方が対象の福祉的なもの。入居者を受け入れる仮住宅が麴町地域に必要。その後の活用は地域と検討②議案を出す段階では区長の意思決定があるが、庁内の議論や常任委員会等への説明を経ている。

平河町二丁目 [旧千代田待合所 御町庁舎] 1984年(26)竣工	1回番町 現状(1986年5月4日竣工) 1980年(18)竣工	2回番町 現状(2007) 2007年(20)竣工
2016年(42) 待合所 飲食店 児童館 現在 解体中!	1回番町 待合所 児童館 集会所	2回番町 アパート 32戸 1回番町 図書館 児童館 児童館 児童館 児童館
約700㎡ 5階建	約1300㎡ 7階建	1400㎡ 9階建

千代田を紡ぐ会・民進

寺沢 文子

公共施設整備計画について

- 問** 区の清掃や葬祭施設がある外神田一丁目では、民間が組合を結成し再開発の検討を重ねている。区民生活に欠かせない区施設の更新は、民間の進捗を待たずに区が主体的に取り組むべき。
- 答** 代替地確保が困難で機能停止が出来ない当該施設は、機能更新の際は多面的な検討が必要。区民、周辺地域の方々の意見を十分に聞き検討していく。

障がい者のニーズに応えるには

- 問** 現在の障がい者施設は手狭であり、グループホーム等を含む終のすみかが必要ではないか。区は障がい児の保護者の不安を分析し早急に対応すべき。
- 答** 保護者の不安を解消するためには、相談場所の確保や選択可能な支援サービス等の提供が重要。広く意見を聞き必要な支援を検討し具体化していく。

教員の負担軽減について

- 問** 国の報告によると教員の精神疾患による休職者が年5,000人を超える。教員の負担軽減のため、部活動の顧問に外部指導員の導入等が必要では。
- 答** 英語の授業に外国人指導助手、部活動に外部指導員の活用等、専門スタッフを配置している。また、会議や事務の効率化を図るため、教員間のメールやデータ共有等が可能な新システムを導入する等負担軽減に努める。



公明党議員団

大串 ひろやす

ごみ減量へ2Rの推進を!

- 問** ①ごみ減量には、生産過程から廃棄過程までのあらゆる環境影響に対して生産者に責任があるとする拡大生産者責任の考え方が重要。日本は廃棄過程における責任と費用は自治体が負っており発生抑制につながっていない。ごみ減量への基本的な考え方を問う②ごみを減らすリデュース、再使用のリユースの2Rを運動として推進を。
- 答** ①大量生産、大量消費、大量廃棄の経済システムからの脱却が必要。拡大生産者責任の考え方を踏まえつつ区はあらゆる方策を講じていく②2Rに注力しての施策展開は意義があり、さまざまな機会を通じて周知していく。

食品ロスの削減について!

- 問** 飲食店等で食べきれなかった料理を持ち帰るための容器「ドギーバッグ」。大学生により考案された「幸せ☆おすそわけプロジェクト」は、この容器に途上国の子どもたちが描いた絵をプリントし、利用されるごとに子ども一人1日分相当の給食費を途上国に送金する仕組みである。食品ロス削減、途上国の子ども支援、国際貢献につながる。区の取り組みとして実施しては。
- 答** 食品ロスの削減は、区民や事業者に対する意識啓発が重要。提案の取り組みも前向きに捉え、区の食品ロス対策の一つとして調査し検討する。



幸せおすそわけ BOX